

クロマルハナバチの特徴と その利用方法



マルハナバチ普及会

株式会社アグリセクト
アリスタライフサイエンス株式会社
東海物産株式会社



クロマルハナバチとは



- 和名（学名）：クロマルハナバチ（*Bombus ignitus*）
- セイヨウオオマルハナバチと同じ亜属
- 分布：本州および壱岐など一部の島 ※北海道、南西諸島には分布せず
- 巣作り（営巣）期間は5月～10月頃までの約半年間
- 国内種では規模の大きな巣をつくる
- 働きバチの体サイズ変異は大きい
- メス（女王バチ、働きバチ）とオス（雄バチ）は体色が異なる
- 性質は温和



クロマルハナバチの分布



マルハナバチのカスト



クロマルハナバチ



女王バチ (♀)



働きバチ
(♀)



雄バチ (♂)



セイヨウオオマルハナバチ



クロマルハナバチ切替時に聞かれる意見



- 雄バチが早く出るため、寿命が短いのでは？
- 働きバチの飛び出しが悪い
- 圃場に導入してからの働き出しが遅い
- 働きバチの数が少なく感じる（圃場の中で見かけない、飛んでいる姿をみない）
- バイトマークが薄い
- バイトマークが濃すぎる
- 紫外線カットフィルムの下での働きが悪い、働かない



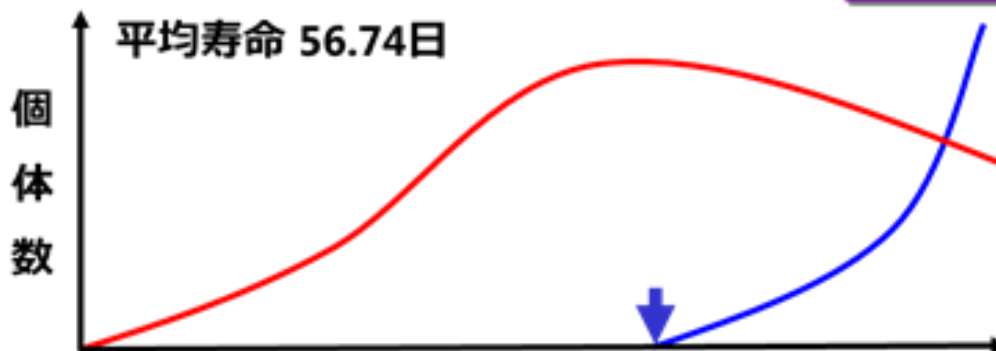
マルハナバチ2種の雄バチの生産時期比較



セイヨウオオマルハナバチ

平均寿命 56.74日

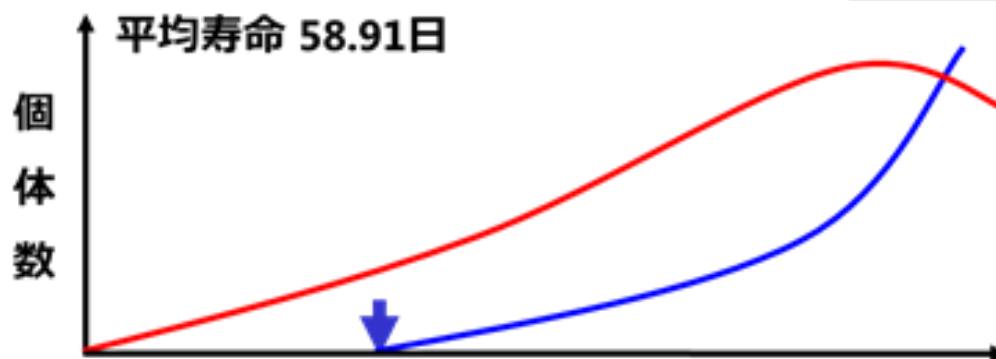
働き蜂の後に
オスを生産



クロマルハナバチ

平均寿命 58.91日

オス生産後も
働き蜂を生産



— 働きバチ
— 雄バチ

(光畑・神戸 原図)

雄バチが早く羽化しても巣の寿命とはかぎりません



雄バチの後からも働きバチの羽化が見られる



雄バチ



羽化したばかり
の働きバチ





クロマルハナバチ切替時に聞かれる意見

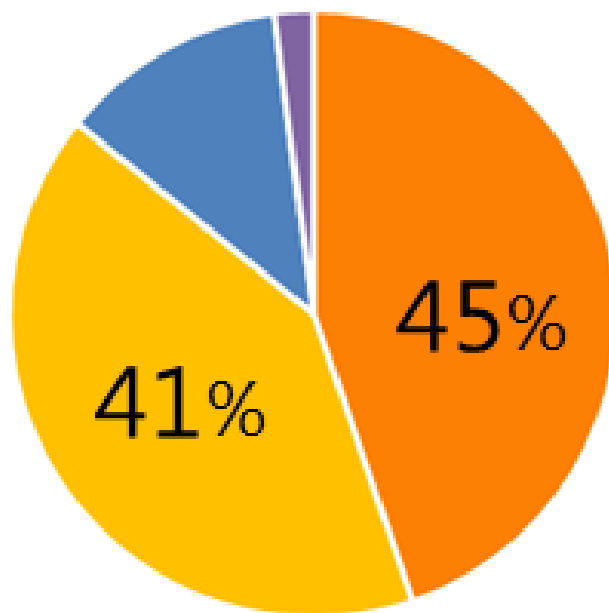
- 雄バチが早く出るため、寿命が短いのでは？
- 働きバチの飛び出しが悪い
- 圃場に導入してからの働き出しが遅い
- 働きバチの数が少なく感じる（圃場の中で見かけない、飛んでいる姿をみない）
- バイトマークが薄い
- バイトマークが濃すぎる
- 紫外線カットフィルムの下での働きが悪い、働かない



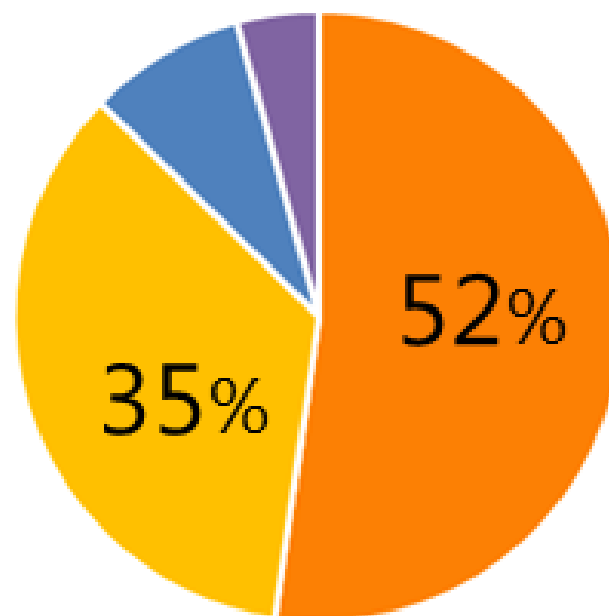
マルハナバチ2種の活動開始日数比較



セイヨウオオマルハナバチ



クロマルハナバチ



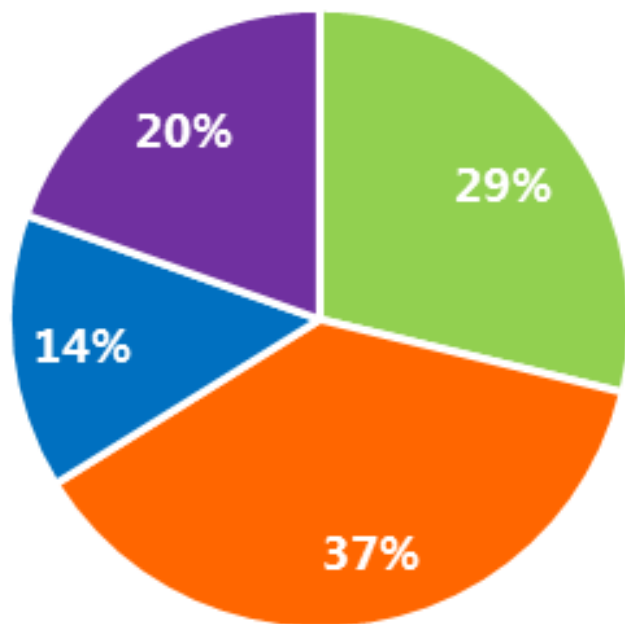
■ 1～2日目 ■ 3～4日目 ■ 5～6日目 ■ 7日目以降

(光畑原図)

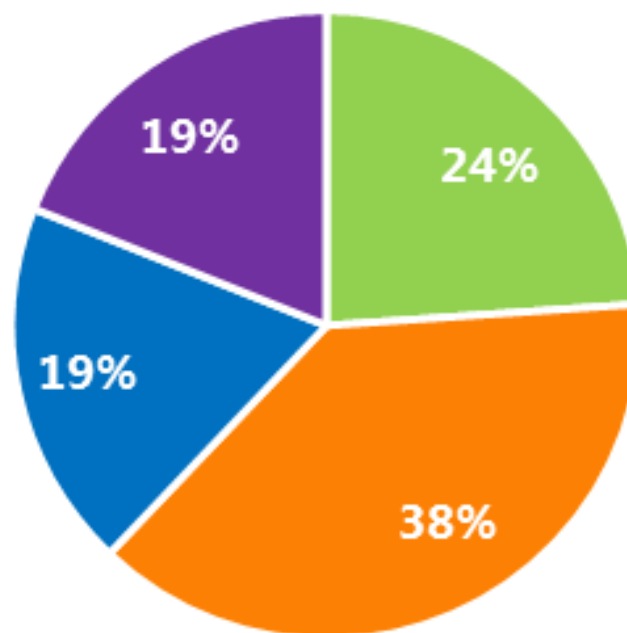
巣門を開放してから、訪花活動を開始するまでの日数に種間差はありません（※導入方法については、各販売業者の取扱説明に従って下さい）

マルハナバチ2種の初期の飛び出し個体数比較

セイヨウオオマルハナバチ



クロマルハナバチ



■ 1～3頭 ■ 4～6頭 ■ 7～9頭 ■ 10頭以上

(光畑原図)

巣門を開放して間もない、初期に訪花活動を開始するまでの個体数にも種間差はありません（※導入方法については、各販売業者の取扱説明に従って下さい）